

事務事業評価

令和 3 年度

担当課

農林課

基本事項	事務事業名	有害鳥獣対策事業			整理番号	1301	
	根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律		実施を義務付ける規定	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	目標	基本目標3 賑わいと活力を興すまちづくり	予算科目	6 款 1 項 3 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規	
		施策	施策3-1 自然の恵みを供給するまち	事業区分	助成・育成		

事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	鳥獣による農作物に係る被害については、鳥獣の生息分布域の拡大、耕作放棄地の増加等に伴い全国的に深刻化し、本市においてもイノシシやカラス等による被害が多く発生し、営農意欲の低下を招いている。 また、近年、住宅地へも出没し、生活環境被害も拡大している。			計画期間	始期	平成	19	年度から	
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	鳥獣による農作物被害を防止し、農業の経営安定を図る。								
	目的達成のための 具体的手段・方法	①有害鳥獣の個体数を減らすため、島原猟友会へ捕獲の委託を行う。 ・銃器によるカラス、ヒヨドリ等の捕獲 ・箱わなによるイノシシ等の捕獲 ・平成23年度から捕獲檻でのカラス捕獲を実施 ②イノシシによる農作物被害対策として効果の高いワイヤーメッシュ柵を設置する。								
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	1 年度	2 年度	3 年度			
		①農作物被害額を令和4年度までに第4次島原半島地域鳥獣被害防止計画の目標である149万円に減少させる	目標	万円	197.0	180.9	164.7			
実績			万円	223.5	103.7					
達成率	%		88.1	174.4	0.0					
活動指標 (目的達成のために 行った活動実績)	①有害鳥獣の捕獲 島原猟友会へ捕獲業務の委託を行い、有害鳥獣の個体数を減らし、農作物被害を減少させる	目標	羽頭	カラス:1,500 イノシシ:700	カラス:1,500 イノシシ:700	カラス:1,500 イノシシ:700				
		実績	羽頭	カラス:299 イノシシ:680	カラス:349 イノシシ:581					
	②ワイヤーメッシュ柵等の設置 国の補助事業を活用し、イノシシ被害地区へワイヤーメッシュ柵等を設置し、農作物被害を防止する	目標	m	22,000	22,000	22,000				
実績		m	5,000	0						

事業費等の推移	年度		29 年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予 算	計 画
	① 直接事業費(千円)		11,785	9,594	13,901	14,217	17,235	12,462
	財源内訳	国 県 支 出 金	3,121	1,971	2,668	5,089	7,038	637
		地 方 債						
		そ の 他						
	一 般 財 源		8,664	7,623	11,233	9,128	10,197	11,825
	② 従事職員給与費 b1 × b2		7,244	7,356	7,229	8,697	8,604	7,183
	従事職員数(人) b1		0.96	0.96	0.96	1.15	1.15	0.96
	職員平均人件費 b2		7,546	7,663	7,530	7,563	7,482	7,482
事業費合計 ① + ②		19,029	16,950	21,130	22,914	25,839	19,645	

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 有害鳥獣による農作物被害は依然として続いており、近年はイノシシの住宅地への侵入による捕獲依頼が増加している。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 国庫事業の要件から不可能。 また、捕獲については、狩猟免許が必要であることから猟友会へ委託している。	A
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 今後も捕獲による個体数の削減、侵入防止策による被害防止の強化は必要である。	A
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 有害鳥獣の捕獲や、侵入防止策の設置等により、目標の被害額については減少している。	A
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある カラス捕獲については、簡易的な檻の活用を検討し、捕獲可能な場所を増やすことで、更なる被害の減少に資することができると思われる。	B
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 補助事業の実施にあたっては、費用対効果の算出は実施しており、費用対効果は十分である。	A
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定による取組のため、現行の費用、業務量の削減は不可能である。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 既に島原半島3市で連携しており、現時点ではこれ以上の改善は不可能と思われる。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 有害鳥獣の捕獲については、可能な限り、市内全域で実施している。 侵入防止柵についても、事業要件を満たしているものについては、対象としている。	A
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか	A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	A
判定評点平均（3点満点）			2.90
A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			

◎ 総合自己評価（所管部署）

評価結果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判断理由	全国的に農山漁村地域における鳥獣による農業への被害は深刻な状況であり、本市においてもこれに対処することは重要な課題の一つである。 今後も引き続き、鳥獣による農業に係る被害の防止のための施策を総合的に実施する必要があり、もって本市の農業の発展及び地域の振興に寄与できるものであることから、特段の見直しは行わず、継続して実施するものである。
	今後の課題及び改善策、見直しの状況		(実施上の課題等) 本市の農業の振興のためには、今後も継続した有害鳥獣への対策が必要不可欠である。 一方で、有害鳥獣駆除に従事できる有資格者の高齢化が進行していることから、若い有資格者の確保が必要である。 また、今回、一次評価においてB判定を付した1点については、更なる費用と労力が必要となることから、まずは有資格者の増加を図ることが必要と思われる。
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載してください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載してください。			

【2次評価】

総合判定	A 継続実施(特段の見直しは行わない)
備考	農業振興のためには継続した有害鳥獣対策が必要であり、今後は有害鳥獣駆除に従事できる有資格者の高齢化等を踏まえ、有資格者の増加策やICTなどの新技術を活用した対策推進を図ってほしい。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input checked="" type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	-4,773 (千円)